



NetApp Workload Factory リリースノート

Release notes

NetApp
February 02, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/workload-relnotes/index.html> on February 02, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

NetApp Workload Factory リリースノート	1
NetApp Workload Factoryの最近の変更点	2
2026年2月1日	2
NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX	2
VMwareワークロード	3
セットアップと管理	4
ビルダーのワークロード	5
2026年1月4日	5
NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX	5
データベースワークロード	7
VMwareワークロード	7
セットアップと管理	7
ビルダーのワークロード	7
2025年12月18日	7
データベースワークロード	8
2025年12月4日	8
NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX	8
2025年11月27日	8
NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX	8
データベースワークロード	9
VMwareワークロード	10
セットアップと管理	10
法的通知	11
著作権	11
商標	11
特許	11
プライバシーポリシー	11
オープンソース	11

NetApp Workload Factory リリースノート

NetApp Workload Factoryの最近の変更点

NetApp Workload Factory の一部であるワークロードの最新の変更について説明します。

2026年2月1日

NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

ホームページには、ストレージに関する適切に設計された問題と **EMS** イベントが含まれています

NetApp Workload Factory のホームページには、ワークロードに関する適切に設計された問題と FSx for ONTAP Emergency Management System (EMS) イベントが表示される Focus タイルがあります。そこから、Storage ワークロードに移動して、ストレージ環境内のすべての FSx for ONTAP ファイル システムの適切に設計されたステータスまたはイベントを表示できます。

S3 アクセスポイントを使用したオンプレミスデータレプリケーションのサポート

Workload Factory は、AWS GenAI、ML、分析との統合のために、オンプレミス ONTAP データのクラウドへのレプリケーションをサポートしています。S3 アクセス ポイントを使用して、オンプレミス データを NFS または SMB/CIFS ボリュームにレプリケートできます。

["S3 アクセス ポイントを使用してオンプレミス データを複製する"](#)

Storage の S3 アクセス ポイントの機能強化

NetApp Workload Factory のストレージワークロードにおける S3 アクセスポイント管理機能にいくつかの機能強化が行われました。S3 アクセスポイントのネットワーク構成の詳細を入力し、S3 アクセスポイントタグを追加できます。追加の機能強化には、S3 バケットの詳細を表示する機能や、S3 アクセスポイントを管理するための追加のアクションを実行する機能が含まれます。

S3 バケットの詳細は **Storage** で利用可能

S3アクセスポイントのメタデータを有効にすると、NetApp Workload Factoryは、AWS S3バケットを自動的にスキャンし、S3テーブルにデータを入力して、すべてのオブジェクト、そのメタデータ、属性、タグの明確なスナップショットを提供します。これらの詳細にアクセスすることで、運用上のオーバーヘッドを削減しながら、責任のあるデータの制御、可視性、信頼性を維持することができます。

["FSx for ONTAP ファイルシステムの S3 アクセスポイントの詳細を表示"](#)

S3 アクセス ポイントの追加管理操作

NetApp Workload Factory は、S3 アクセス ポイントの追加の管理操作を提供します。NetApp Workload Factory インターフェースから、アクセス ポイントの詳細を表示したり、既存の S3 アクセス ポイントを変更したり、S3 アクセス ポイント タグを追加または削除したりできるため、オブジェクト ストレージ管理タスクを効率化できます。

["NetApp Workload FactoryでS3アクセスポイントを管理する"](#)

Well-Architected 分析の更新

Workload Factory は、次の構成について FSx for ONTAPファイル システムを分析します。

- キャッシュ ボリューム サイズの最適化：最適なサイズを維持し、ホット データにキャッシュを集中させて効率を最大限に高めるために、キャッシュ ボリュームでボリュームの自動サイズ調整とスクラビングが有効になっているかどうかを確認します。
- 孤立したブロックデバイス：ブロック デバイス データのアーカイブ、または 7 日間連続して使用されていないブロック デバイスの削除を推奨します。
- Storage VM 論理レポート：Storage VM のデフォルトのレポート設定が論理に設定されているかどうかを確認します。これにより、ボリューム レベルでのストレージ使用状況の可視性が向上します。

ブロックデバイス用の追加カード

ブロック デバイスの使用状況と保護ステータスを迅速に把握できるように、Storage ワークロードの Block devices タブに 3 つの新しいカードが追加されました。

- ストレージ効率：使用済みおよび使用可能なストレージ容量を表示します。使用済み容量は、SSD および容量プールのストレージ階層別に分類されます。
- 保護されたデバイス：スナップショット、リモートレプリケーション、NetApp Autonomous Ransomware Protection (ARP/AI)、およびバックアップを使用するブロックデバイスの割合を表示します。
- 孤立デバイス：7 日間連続して使用されていないブロック デバイスがあるかどうかを表示し、未使用のリソースを効果的に識別して管理するのに役立ちます。ここから、["未使用のブロックデバイスのスペースを再利用する"](#)。

イニシエータグループの作成と管理のサポート

NetApp Workload Factoryは、FSx for ONTAPファイルシステムのブロックストレージ用イニシエータグループ (igroup) の作成と管理をサポートします。イニシエータグループは、ブロックデバイス (LUN) をアクセスが許可されたコンピューティングリソースに接続し、SAN環境のブロックストレージにアクセス許可レイヤーを提供します。

- ["NetApp Workload Factoryでイニシエータグループを作成する"](#)
- ["NetApp Workload Factory で既存のイニシエーターグループを管理する"](#)

VMwareワークロード

Amazon Elastic VMware Service の Well-Architected 分析

Workload Factory は、Amazon Elastic VMware Service (EVS) 環境向けに、自動化された well-architected 分析機能を提供するようになりました。毎日のスキャンで設定の不整合を特定し、詳細な修復推奨事項を提供することで、最適な運用、セキュリティ、コスト効率の維持を支援します。

スキャンはAWS APIを使用して実行されます。vSphere認証情報やvCenter接続は必要ありません。結果は、EVS環境の詳細にある新しい*Well-architectedステータス*タブで確認できます。

このリリースには、次の分析情報が含まれています：

- インスタンスの停止/終了保護ステータス：EC2 の停止または終了保護が適用されていない EVS ノードを

識別します。EC2 コンソールから EVS ノードを停止または終了すると、仮想マシンのデータが利用できなくなったり、データが失われたりする可能性があります。

- クラスターノードのパーティション配置アライメント：AWSアベイラビリティゾーン内のパーティションに障害が発生した場合に、重大な処理能力の低下やダウンタイムにつながる可能性のある、パーティション配置の不整合を検出します。各インサイトには、重大度レベル、影響を受けるリソース情報を含む詳細な検出結果、AWSベストプラクティスに基づく段階的な修復手順が含まれます。

"適切に設計された構成を実装する"

セットアップと管理

適切に設計されたアップデート

NetApp Workload Factory には、Elastic VMware Service (EVS) ワークロード向けの Well-Architected 評価が含まれており、ストレージおよびデータベース ワークロードの新しい構成が追加されています。

- **VMware** ワークロード NetApp Workload Factory は、適切に設計された Amazon Elastic VMware Service (EVS) ワークロードを運用するためのベストプラクティスと推奨事項を提供します。

"適切に設計されたEVS構成を実装する"

- ストレージワークロード ストレージワークロードのWell-Architected機能にいくつかの新しい構成が追加され、ストレージのパフォーマンスとコストをより深く理解できるようになりました。
 - Storage VM論理レポート
 - キャッシュボリュームのサイズを最適化する
 - 孤立したブロックデバイス

"Storage ワークロードに適したファイルシステム構成を実装する"

- データベース ワークロード Workload Factory for Databases には、Direct NFS (dNFS) を有効にして設定し、I/O パフォーマンスを向上させ、ホストとストレージ システムの負荷を軽減するための、Oracle の新しいストレージ構成が含まれています。
 - dNFSの有効化
 - dNFS 一貫性のある IP 解決
 - dNFS設定ファイル
 - dNFS nosharecache

"適切に設計されたデータベースワークロードを実装する"

Storage の新しい権限

S3 アクセスポイントの管理を強化するために、Storage ワークロードに新しい権限が追加されました。

"権限参照の変更ログ"

ビルダーのワークロード

カスタマイズ可能なタグによる強化されたダッシュボードフィルタリング

EDAダッシュボードで、AWSタグに基づいて最大5つのカスタムフィルターを設定できるようになりました。各カスタムフィルターには、ラベル名、AWSタグキー、選択タイプ（単一選択または複数選択）が含まれます。

複数選択では複数の値を同時に選択できますが、単一選択では一度に1つの値しか選択できません。カスタムフィルターは設定した順序で表示されるため、頻繁に使用するフィルターを簡単に整理できます。

カスタムフィルターを構成しない場合は、デフォルトのフィルター（ファイルシステム、ボリュームタイプ、時間範囲）が引き続き使用できるため、ダッシュボードの表示と操作を続行できます。

["カスタムフィルターの設定について詳しく見る"](#).

詳細なパフォーマンス分析のためのボリューム詳細ビュー

ダッシュボードに、合計ビューとボリュームビューの2つの表示モードが追加されました。合計ビューでは全ボリュームの集計指標が表示され、ボリュームビューでは上位10件のボリュームの個別パフォーマンスが時系列で表示されます。

ボリュームビューでは、インタラクティブなホバーツールチップにより、各ボリュームの詳細情報（ボリューム名、メトリック、時間ごとの値など）が表示されます。複数のコンポーネントに同じボリュームが表示される場合、一貫した色分けにより、異なるメトリック間で特定のボリュームを容易に追跡できます。

["ボリュームの詳細の表示の詳細"](#).

プロアクティブなパフォーマンス監視のためのレイテンシ分析

レイテンシー分析により、FSx for ONTAP ファイルシステム全体のボリューム読み取りおよび書き込みレイテンシーを監視できます。カスタマイズ可能な警告イベントおよび重要イベントのしきい値を設定することで、EDA ワークロードに影響を与える前にパフォーマンスのボトルネックをプロアクティブに特定できます。

レイテンシ イベント テーブルにはすべての警告イベントと重大なイベントが表示されるため、ボリュームのパフォーマンスを監視し、最適化が必要なボリュームを特定できます。

この機能には AWS 認証情報が必要で、EDA ダッシュボードの Latency メニューからアクセスできます。

["レイテンシ分析の詳細"](#).

2026年1月4日

NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

Well-Architected 分析の更新

Workload Factory は、次の構成について FSx for ONTAPファイル システムを分析します。

- NetApp Autonomous Ransomware Protection (ARP/AI) がブロックデバイスを含むように無効化: ブロックデバイスボリュームで ARP/AI が無効化されているかどうかを確認します。

- キャッシュ関係書き込みモード: 書き込みモードがキャッシュボリュームのワークロードに最適かどうかを確認します。
- 不要なバックアップの削除: コストを削減するために削除できる古いバックアップや不要なバックアップがないか確認します。

["FSx for ONTAPファイルシステムの Well-Architected ステータスを表示します"](#)

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

Lambda リンク リソースベースのアクセス許可ポリシーでの IAM ユーザー プリンシパルの使用

高度なONTAP操作を実行するために Workload Factory アカウントと 1 つ以上の FSx for ONTAPファイルシステム間を接続するために使用される Lambda リンクは、リソースベースのポリシーアクセス許可に IAM ユーザープリンシパルを使用するようになりました。この変更により、AWS リソースアクセスに関する業界のベストプラクティスとの整合性が向上します。

EMSイベントのAIアナライザーに分析画面を追加しました

ストレージ メニューに新しい [分析] 画面が追加されました。この画面から、FSx for ONTAP EMS イベント機能の AI アナライザーを使用できます。

NetApp Workload Factoryのブロックデバイスの機能強化

ブロック デバイスに対して次の機能強化が行われました。

ブロックデバイスの作成

NetApp Workload Factory は、FSx for ONTAPファイル システムで iSCSI プロトコルを使用してブロック デバイスを作成することをサポートしているため、Workload Factory コンソールから基幹業務 (LOB) アプリケーションをより適切にサポートできます。

ブロックデバイス管理の機能強化

NetApp Workload Factoryには、以下の機能強化が含まれています。 ["ブロックデバイスの管理"](#)。Workload Factory コンソールから次のタスクを実行できるようになりました。

- クライアントアクセスの管理
- ブロックデバイスデータをアーカイブする
- ブロックデバイスを削除する

ブロックデバイスを含むFlexVolボリューム上のARP/AIのサポート

有効にすることができます ["NetApp のAI 搭載自律型ランサムウェア防御 \(ARP/AI\)"](#) ブロックデバイスを含むFlexVolボリューム上。ARP/AI を有効にすると、AI を使用してランサムウェア攻撃を検出し、データの復旧を支援します。

データベースワークロード

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

VMwareワークロード

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

セットアップと管理

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

ビルダーのワークロード

NetApp Workload Factory for Builders がNetApp Workload Factory for EDA に

Workload Factory for Builders は Workload Factory for EDA になりました。名前の変更は、電子設計自動化 (EDA) ワークロードに重点が置かれていることを反映しています。

Workload Factory for EDA は、複数のファイルシステムにわたって FSx for ONTAPを最適化するのに役立ちます。ストレージ パラメータを自動化し、パフォーマンス制約を分析し、EDA プロジェクトに関する分析情報を取得することで、パフォーマンスを最適化し、運用コストを削減できます。Workload Factory for EDA は、Infrastructure as Code (IaC) フレームワークと統合するように設計されています。

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

2025年12月18日

データベースワークロード

Active Directory統合の強化

Workload Factory for Databases には、詳細作成 オプションを使用して Microsoft SQL Server を展開するときに、3 つの新しい Active Directory (AD) フィールドが含まれます。これらの機能強化により、Active Directory 参加の設定を指定し、管理されたサービス アカウントを使用できるようになります。

新しい AD フィールドは次のとおりです。

- 優先ドメインコントローラ
- 優先組織単位パス
- 対象の Active Directory グループ

["Microsoft SQL Server を導入する"](#)

2025年12月4日

NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

FSx for ONTAPの AWS S3 アクセス ポイントのサポート

NetApp Workload Factory は、FSx for ONTAPファイルシステム用の AWS S3 アクセスポイントをサポートしています。S3 アクセス ポイントを使用してボリュームを作成し、既存のボリュームに S3 アクセス ポイントを割り当て、Workload Factory コンソールから S3 アクセス ポイントを管理できます。S3 アクセスポイントを使用すると、AWS S3 API を介して SMB/CIFS または NFS ボリューム上にあるファイルデータにアクセスできます。これにより、既存のデータを、S3 アクセスポイントをサポートする AWS サービスの GenAI、ML、分析と統合できます。

- ["S3 アクセスポイントを使用してボリュームを作成する"](#)
- ["ボリュームのS3アクセスポイントを管理する"](#)

2025年11月27日

NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX

NetApp Workload Factoryにおけるブロックデバイスのサポート

NetApp Workload Factoryで新しく導入されたブロック デバイス サポートを使用して、ブロック デバイスをより効率的に管理します。この機能を使用すると、iSCSI LUN の詳細を表示して容量を増やすことができるため、ストレージ ニーズに合わせて柔軟性が向上します。

["Workload Factoryでブロックデバイスを管理する"](#)

Well-Architected 分析の更新

ワークロード ファクトリーは、次の構成について FSx for ONTAPファイル システムを分析します。

- 不要なスナップショットの削除: ボリュームに、コストを削減するために削除できる古い不要なスナップショットがあるかどうかを確認します。
- FlexGroupボリュームの再バランス: FlexGroupボリュームがメンバー ボリューム間で均等にバランス調整され、最適なパフォーマンスが確保されているかどうかを確認します。

["FSx for ONTAPファイルシステムの Well-Architected ステータスを表示します"](#)

NetApp Workload Factoryの EMS イベント用 AI アナライザー

NetApp Workload Factory は、ONTAPイベント管理システム (EMS) イベント用の AI 搭載アナライザーを導入しました。この機能は、EMS イベント データの分析に基づいて洞察と推奨事項を提供することで、問題を迅速に特定してトラブルシューティングするのに役立ちます。

["Workload Factory で EMS イベントを分析する"](#)

FSx for ONTAPファイルシステムのコストと使用状況の傾向を監視する

NetApp Workload Factoryコンソールから直接、FSx for ONTAPファイルシステムのコストと使用状況の傾向を監視できます。この機能は、ストレージの消費量とコストのメトリック、および明細化されたコストを提供し、リソースの割り当てと予算計画の最適化に役立ちます。

["Workload Factory で FSx for ONTAPファイルシステムのコストを追跡する"](#)

NetApp Workload Factoryでファイルシステムの FSx タグを管理する

NetApp Workload Factoryコンソールからファイルシステムの FSx タグを直接簡単に管理できます。この機能を使用すると、タグを追加、編集、または削除できるため、FSx for ONTAPファイルシステムの整理と分類を効率化できます。

["Workload Factory で FSx タグを管理する"](#)

FSx for ONTAPファイルシステムのキャッシュ容量を調整する

Workload Factory コンソールからキャッシュ ボリュームの容量を増減できます。

["Workload Factory でキャッシュボリュームを管理する"](#)

データベースワークロード

Amazon Elastic Block Store (EBS) のデータベース計算ツールで節約を最適化

2 つの新しい計算機能により、EBS ストレージを使用して複数のインスタンスを実行する際のコスト削減分析が改善され、FSx for ONTAPに切り替えることでさらにコストを削減できるようになります。

- Workload Factory は、1 つの FSx for ONTAPファイル システム上の複数のデータベース ホストに統合されたストレージ ソリューションを提供します。この統合により、複数のデータベース ホストに必要なファイル システムの数が削減され、ストレージ コストが最適化され、コスト削減が向上します。
- Workload Factory は、EBS パフォーマンスの使用状況を分析し、最適かつ最もコスト効率の高い FSx for ONTAP構成を提案します。

["検出されたEBSホストの節約を調べる"](#)

Well-Architected ダッシュボードで利用可能な Excel レポート

適切に設計されたダッシュボードの Excel レポートをダウンロードできます。このレポートには、データベース リソースの well-architected ステータスと、オペレーティング システムおよびONTAPのサブ構成を含むすべてのリソース構成の推奨事項が示されます。

Oracle データベースで利用可能なエラー ログ アナライザー

Agentic AI 搭載のエラー ログ アナライザーは、Oracle データベースで使用できます。この機能は、高度な機械学習アルゴリズムを活用して、ログ ファイル内のエラーを自動的に検出して分析します。このツールは、ログで識別されたパターンに基づいて開発者に実用的な洞察と推奨事項を提供することで、トラブルシューティング プロセスを合理化することを目的としています。

["Agentic AI搭載エラーログアナライザーの詳細"](#)

Oracle 向けの Well-Architected 分析

Well-Architected 分析には、2 つの新しいストレージ サイズ設定構成が含まれています。この分析では、既存の Oracle データベース デプロイメントのスワップ領域の割り当てとファイル システムのヘッドルームに関連する構成の問題を評価および修正します。

["Workload Factory で Well-Architected データベース構成を実装する"](#)

VMwareワークロード

特定のリージョンにおける **Amazon Elastic VMware Service** への移行によるコスト削減を計算します

クラウド移行のためのさまざまな展開オプションの価値を調査し、ソリューション評価に投入された労力を最適化し、クラウドで価値と節約をもたらす可能性のあるソリューションを詳細に調査できるようになりました。

また、EVS 展開で FSx for ONTAPを使用することで実現できる vCPU コアの節約を確認することもできます。

["NetApp Workload Factoryで Amazon Elastic VMware Service の割引価格をご確認ください"](#)

セットアップと管理

ストレージの権限の更新

FSx for ONTAP EMS イベント アナライザーは、*operations and remediation* 権限ポリシーの次の Amazon Bedrock 権限を使用して、ストレージ ワークロードのイベント データを取得します。

- `bedrock:ListInferenceProfiles`
- `bedrock:GetInferenceProfile`
- `bedrock:InvokeModelWithResponseStream`
- `bedrock:InvokeModel`

["権限参照の変更ログ"](#)

法的通知

法的通知では、著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、およびNetAppの商標ページに記載されているマークは、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名および製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

NetAppが所有する特許の最新リストは、次のサイトで参照できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["NetAppワークロード ファクトリー"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。